

令和2年度 第2回 大洲市総合教育会議 会議録

1 開催した日時及び場所

令和2年12月21日(月) 午後3時55分から午後5時10分まで
大洲市役所3階第1会議室

2 出席した構成員

大洲市長	二宮隆久
大洲市教育委員会 教育長	東山宏
大洲市教育委員会 教育長職務代理者	西山千春
大洲市教育委員会 委員	山内光郎
大洲市教育委員会 委員	渡邊ひとみ
大洲市教育委員会 委員	吉岡恵一

3 会議に出席した職員

(教育委員会事務局)

教育部長	井上徹
教育総務課長	城戸弘一
教育総務課学校教育指導監	竹本修二
生涯学習課長	林田稔徳
文化スポーツ課長	村上司
学校給食センター所長	山崎重信
教育総務課長補佐	松田圭司

(市長部局)

市民福祉部長	藤田修
子育て支援課長	仲岡貴志

(事務局)

総務企画部長	栗田浩治
企画情報課長	久保明敬
企画情報課長補佐	信尾肇典

4 傍聴者の数

なし

5 協議又は調整に係る事項

- (1) 令和3年度主要施策・事業のについて
- (2) その他

6 議事

別紙のとおり

	1 開会
	2 市長あいさつ
二宮市長	3 議事 (1) 令和3年度主要事業について それでは早速、議事に移りたいと思います。括弧1の「令和3年度主要事業について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。 [会議資料に基づき説明] 城戸課長、竹本指導監、林田課長、村上課長、山崎所長、仲岡課長
二宮市長	それでは、質疑、意見交換に移りたいと思います。 まず、教育総務課の説明に対して、何かご意見、ご質問はありませんか。
西山委員	働き方改革について、留守番電話、ナンバーディスプレイの件で説明がありましたが、現在ほどの程度の割合で設置されているのでしょうか。
城戸課長	留守番電話、ナンバーディスプレイについては、校長会からも要望があり、各学校の状況は把握していますが、今の時点では高い設置率ではありません。今後は、大規模の小中学校の方から、順次対応できるように進めていきたいと考えています。GIGAスクールで進めているパソコンの導入によりまして、学校に高速大容量の通信ネットワークができてまいります。そこに光回線が入ってきますと、今のアナログ通信回線より安くナンバーディスプレイの導入ができる契約があるように伺っております。このことから、次年度以降、留守番電話、ナンバーディスプレイの設置を進め、働き方改革の推進につなげたいと考えております。
西山委員	是非、早く進められるよう期待しています。
二宮市長	現状で、留守番電話やナンバーディスプレイがないことで、このように困っているということがありますか。
竹本指導監	私も経験がありますが、勤務時間が終わってからいろいろなクレームの電話がかかってきて、それが2時間、3時間に及ぶ時もあります。気が付けば9時や10時ということも経験しました。学校が要望している留守番電話は、録音機能があるものではなく、業務が終了したことを告げるアナウンスが流れるものです。録音機能がある場合、月曜の朝になって数件のクレームが録音されていれば、これも逆効果になってしまいます。業務終了のアナウンスについては、高校でもやっておりますので、是非お願いしていきたいと考えています。
渡邊委員	学校に関係のない電話はあまりかかってこないのでしょうか。一般家庭や企業であれば、電力の切り替えとかセールスの電話が頻繁にかかってきます。
竹本指導監	多少はありますが、学校であることを伝えてお断わりしていますので、困るようなことはありません。ただ、地域の方から、ヘルメットの着用の仕方などで指摘を受けたことはあります。

西山委員	教員のストレスチェックを2回にされたとのことですが、コロナの影響でストレスの値が高くなったりすることがあるのでしょうか。
竹本指導監	消毒のこともありました。要領がよくなってきました。部活動で使っていない教室から行うなど効率よく行っています。確かに、技能教科でマスクを着用するとか、集団での体育の授業は極力控えるよう通知が文部科学省から来ておりましたので、なかなか難しいところがありました。幾分緩和されつつあったのですが、またここにきて通知が来ましたので、教科によっては教師のストレスがあると思います。
二宮市長	ありがとうございました。他にご意見、ご質問はございませんか。
山内委員	I C T教育の充実について、小学校についても環境が充実してきますが、スタッフといいますか人材が十分ではないと考えます。2名の配置を考えられているようですが、市長部局にお願いしていただき、予算確保していただければと考えます。
二宮市長	I C T関係の先生への研修体制とか、外部人材の登用とか、そのようなことで、例えば県教育委員会からの指導や支援、市長部局への要望とかあるかと思うのですが、いかがでしょうか。
竹本指導監	研修につきましては、小倉指導員が入って遠隔操作とかいろいろなことを行ってもらっています。県教育委員会により、I C T環境の整っている小学校ではZOOMによる研修なども行っています。中学校では今のところ十分ではないので、小学校に出向いて研修をするなどしています。I C T支援員につきましては、大洲北中学校に県のI C T支援員を配置いただいています。その人材については大洲市で選ぶように言われております。
二宮市長	これは私見ですが、一時期パソコン教室のようなものが市内にもあったかと思いますが、そこも閉店されているところもあると思います。学校現場に適するかという問題があるかとは思いますが、有資格の方もいらっしゃると思いますので、そのあたりの人材発掘も考えていただきたいと思います。 私の方から1つ伺いたいのが、教職員の方の働き方改革の関連で、前回も話しかけて強要はできないところですが、部活動のことです。周辺部の子どもからすると、やりたい種目があるのに進む中学校にはその部活動がないため、「大洲北中学校へ行きたい」、そのような気持ちの子どもも増えてきているのではないのでしょうか。先生方も、そのような現状を踏まえて、部活動をこのように進めていきたいとか、アスリート志向のレベルの高い部分は社会体育に求めていくような要望も現場から出ているのではないかと推測するのですが、いかがでしょうか。
竹本指導監	実際に小学校6年生くらいになると、この中学校に行きたいけれども、学校に希望する部活動がないために、別の学校に行きたいという話は聞きますので、そのあたりの整理はしなければいけないと考えています。
二宮市長	私の知る範囲では、サッカーを思いっきりやってみたい子どもは、松山のレベルの高い子どもが集まるクラブへ夜や週末に通っている、また、陸上で頑張りたいという子どもは、隣の市のアスリートクラブへ通い、隣の市の高校へ進学を目指す、そのような話を聞くと少し寂しい

	気持ちになります。文化スポーツ課長とよく相談をしてもらって、子どもたちのために、良い方向を考えていただきたいと思います。 他にご意見、ご質問はございませんか。
吉岡委員	I C T教育の充実において、1人1台のタブレット端末の配布ということが先行しすぎて、そのことによる子どもの学び方、先生の教え方がどのように変わってくるのか分からない点であります。G I G Aスクール構想で逆に先生方の負担が増えるようではいけないと思います。先ほど支援員の話で、なかなか人材が見つからないという中では民間の力を活用するということも考えられますが、費用がかかるということもあり、大変苦慮されている状況だと思います。来年度から始まるということで、すぐに充実した環境ということは難しいと思いますが、今後年数を重ねて、大洲市の教育をどのように充実させていくかという点で、何かあればお話を聞かせていただけないでしょうか。
城戸課長	I C Tの支援員は、文部科学省の水準では4校に1名程度必要ということです。平成30年度から令和4年度にかけて地方交付税の措置をしているので進めるよう指示がきており、令和4年度末が期限となっておりますので、国はG I G Aスクール構想を加速させてきたところです。 確かに人材の確保には苦勞しておりまして、その場合は、会計年度任用職員、教職員O Bに限らず、業者委託できる道があるならば、予算の範囲内で、期間を限定するなどして、できるだけ学校の先生の支援ができる人材を確保していきたいと考えています。
吉岡委員	これは、支援員に対する財源の支援は国からも一切ないということでしょうか。
城戸課長	地方交付税措置されているというだけで、補助金ではないので一般財源ということになります。令和3年度の予算も付きにくいところではありますが、教育総務課としては、20校ありますので、人材確保の問題もありますが、何とか2名程度は配置したいと考えています。
吉岡委員	リモート教育の中で、文部科学省が言われている、災害があった時でも、自宅からか地元でも教育が受けられるということですが、出席の扱いとかはどのようになるのでしょうか。 例えば災害だけでなく、学校に行きたくても行けない子どもは、自宅で授業が受けられるようなことにもなると思います。
竹本指導監	災害や雪とかの場合に警報発令がなく、学校が開かれているとき、家から出られない場合は欠席扱いとはしていません。 また、アナログの教科書が基本となりますので、1人1台のタブレットになったとしても、毎回タブレットの授業を行うのではなく、1日に1時間、2時間程度使う、また災害の時にも使えるということになります。先ほどありましたとおり、教師側の知識、技能の面も大事ですので、今年度は小中学校の教員100名程度は県の養成講習を受けて、それを各学校へ持ち帰って校内研修に繋げ、広げています。そのような研修会を増やして行って、みんなが使えるようにしていきたいと考えています。
東山教育長	デジタルへの対応もしていかなければならない中で、デジタル教科書もでています。教科によっては、デジタルよりも紙の方が良いなどいう

	いろいろありまして、ＩＣＴを活用すれば学力が上がるかという保証はまったくありません。指導監が申しましたように、ずっとやるわけではなく、何時間か、有効に活用できればというような段階です。毎時間デジタルでやっているのは、授業がまったく進まなくなる状況も考えられますので、そのあたりを、他の事例も参考にしながら、取り入れていくような形になると思います。ただし、操作技能については、子どもも教員もしっかり習熟しなければいけないと思っています。そのあたりの効果も考えていかなければならないと思います。
二宮市長	スタートラインに立ったというところですので、これからいろいろあると思います。小学校の先生方は英会話の指導もマスターしなければならないし、今度はＩＣＴ教育ということで、新しい分野へどんどんチャレンジしていただいて、頑張りたいと思います。 他にご意見、ご質問はございませんか。
吉岡委員	小学校の３５人学級が持ち出され、都市部では教室が不足することが心配されていますが、大洲市では３５人学級への対応はどのような状況でしょうか。
竹本指導監	現在、国は小学校１年生が３５人、愛媛県は小学校４年生までが３５人ということに既になっております。大洲市では、小学校５年生、６年生においても、加配により３５人学級を既に実現しておりますので、全て３５人学級になっている状況です。
吉岡委員	分かりました。
二宮市長	おそらく教育の現場では、３０人以下にしてほしいと思われていると推察します。 次に進ませていただきます。生涯学習課から説明がありましたが、青少年健全育成事業の推進について、ご意見、ご質問はありませんでしょうか。
西山委員	地域学校協働本部を開設されるようになっていますが、次の年度のコミュニティ・スクールの学校運営協議会のメンバーになられる何名かが、地域学校協働本部に入られるようになるのでしょうか。
林田課長	コミュニティ・スクールは、学校の学校運営協議会という形で、法に基づいて設置される協議会になり、教育総務課で人選もされ、委嘱されます。 学校・家庭・地域連携推進事業の中の地域学校協働活動では、地域コーディネーターを委嘱しまして、その方が学校の運営協議会にも入っていただいて、学校と地域の調整役になっていただきます。学校は議論をする場所であり、そこで決まったことを協働活動ということで、地域の方にコーディネーターを介して、働きかけていくことになります。ボランティアを探したり、協力していただける任意団体を見つけたり、そのような調整役をしていただけるのが、コーディネーターということになります。両輪が一緒になって、学校としては地域とともにある学校づくりを、地域としては学校を核とした地域づくりを、両輪として行きますようということになります。
西山委員	地域学校協働本部には、地域コーディネーターがいらっしゃって、両

	輪を動かすために活躍されるということでしょうか。
竹本指導監	コミュニティ・スクールは20人以内で構成されるのですが、メンバーに地域コーディネーターの方も入られて、地域学校協働本部で活動されるということになります。
二宮市長	他にございませんでしょうか。ないようでしたら、次に文化スポーツ課の主要事業に入らせていただきます。 こちらは、大きく分けると文化・芸術関係とスポーツ関係と2つあったかと思います。最初に、文化・芸術関係で何かご意見、ご質問あればお受けしたいと思います。 発掘調査とか、学芸員の方は大変忙しい思いをされていますが、順調に進んでいますか。
村上課長	今年度は、遺跡確認調査事業ということで、中世城館跡の、旧肱川町の3箇所の調査とか、四国遍路道の調査で鳥坂峠越えと夜昼峠越えをやっております。いずれも予定どおり順調に消化しております。新谷の都谷も年度の最初の方に、区切りのよいところまで終わらせています。 石垣の改修の関係で、城山の二の丸西曲西側で、昨年が上側の段でしたので2年目になるのですが、今回下側の段を12月から取りかかっています。今年度は予定どおり調査事業を進めています。
二宮市長	何か、他に文化・芸術関係でございませんでしょうか。
吉岡委員	市立博物館のホームページの作成事業ですが、来年から大洲市立図書館の方では、国立図書館の資料が閲覧できるということです。大洲市教育委員会としては、所蔵している収蔵物の一覧を、今度のホームページにあわせて、閲覧が可能ということで、非常に楽しみにするところです。是非進めていただいて、県外の方とかも、大洲市の所有している収蔵物をホームページで見ることで、実際に大洲市の来られることも可能かなと思いますし、期待もできると考えます。期待しております。
二宮市長	文化スポーツ課長、何か抱負があればお願いします。
村上課長	博物館の収蔵品は、一縛りで考えますと1万9千件を数えております。1件について、3品が1つになっているものもありますので、今のシステムに入力されているものでは、4万点の登録があります。この4万点につきましては、クラウドシステムへ移行することで、外部からもスマホとかで閲覧ができるわけですが、残りのものも含めて全部で何点になるかは把握ができていませんが、1つでも多くデータに収めるようにして、ホームページからの閲覧が可能となるよう頑張っていきたいと考えています。
二宮市長	他にないようでしたら、スポーツ・社会体育の関係でご意見、ご質問はございませんでしょうか。 ないようでしたら、私から1つお願いをさせていただきます。 スポーツの方では、コロナウイルスの関係で大変寂しい思いをされていると思います。ウィズコロナの時代の健康づくりをどのように進めるか、フレイルという言葉が今広まっていますが、年配の方、若い人や働き盛りの方も引っ込み思案になって、運動不足により健康が損なわれてしまう、特に高齢者の方は1人になってしまうと、話し相手がおらず引

	きこもり気味になりますと、うつ気味になられたりとか、危険な兆候が出たりする可能性があります。認知症の進行も考えられます。是非、適切な運動、スポーツやレクレーション、サロン活動などをウィズコロナの時代にどう進めるのかということを少し研究いただいて、広く啓発に努めていただき、市民の健康づくり、心の健康を含めてお願いをしたいと思います。これは要望ですので、よろしくお願いします。 それでは、次に学校給食センターの方から説明がありましたが、ご意見、ご質問はありませんでしょうか。 河辺学校給食センターは色々あったようですが、教育委員会としては、方向が定まったというところでしょうか。
井上部長	次の3月議会では、新しい方向での報告ができるかと考えております。
二宮市長	できれば、同じ学校給食を河辺の子どもにも食べていただきたいと思います。 今年度から、米食が週4回、パン食が週1回となりましたが、子どもや教職員からの評価はどうでしょうか。
山崎所長	今のところ、パン食が減ったことによるクレームなどはいただいておりません。お米が良いという方、パンが好きという方いろいろあるわけですが、パン食であることでのメニューのレパートリーは広がっていますし、ご飯に対するおかずについても、栄養士の先生がいろいろと考えていただいておりますので、苦情のようなものはいただいておりません。順調に進んでいると考えています。
二宮市長	米食の回数が増えて、喜んでいるということはないでしょうか。
竹本指導監	みんな喜んでいると思います。
二宮市長	1日3、500食程度になると思いますが、週に1回米食の給食が増えることで、米の消費量はどのくらい増えるのでしょうか。
山崎所長	1日当たり290キロ程度のお米を使用します。
二宮市長	今、日本の1人当たりの米の消費量がどんどん少なくなっています。政府は一生懸命働きかけていますが、食料の自給率も下がっています。治水対策の点でも、懸命に行っていますが、内水で浸かる水田地帯の問題は、1年、2年ではなりません。水に浸かる農地において、復元率が高い作物は米とサトイモだと思います。この作物の消費を大洲市としてどのようにしていくかということも考えていく必要があると思います。サトイモは、いもたきパックの名前を売って、全国に広めていくということをやっていく、お米は地元で消費してもらう、国外からの作物にいつまでも頼ることがないよう、そのあたりも考えていただきたいと思います。 他にないようでしたら、子育て支援課の方に入らせていただきます。何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。
吉岡委員	東大洲認定こども園が先行して始まっていますが、今年度を振り返って何かありましたら、お聞かせいただきたいと思います。

仲岡課長	大洲市で初めての公立の認定子ども園ということで、第1回の会議の時に課題として上げさせていただきましたが、3歳以上の子どもについて、給食は学校給食センターから提供していただいています。長期休暇中や警報発令時は提供されない状況です。幼稚園籍の子どもはお休みできますが、保育所籍の子どもの給食を、急遽、自園調理にて提供しなければならなくなることが、1つの課題としてありました。
吉岡委員	今年度、その給食の問題はどのように対処されたのでしょうか。
仲岡課長	学校給食センターからの給食を長期休暇中や警報発令時も提供してもらえないか要望しましたが、どうしてもできないとのことでした。 一方、幼稚園籍、保育所籍の全てを自園調理で賄うことは、調理室の関係でできませんので、課題解消にはなりません。今後も引き続き給食センターから給食を提供していただくことになります。
吉岡委員	これから、他の幼稚園についても認定こども園化が進められる中で、東大洲認定こども園が一つのモデルとなる園になるかと思います。東大洲認定こども園からこぶし通りへ出たところで、駐車場が近くにないこともあり、民間の駐車場を活用させていただいて、横断歩道を使用することが見受けられます。街灯がないため、暗いという声も聞いておりますが、民家も近くにいますから、街灯をつければいいかと言えば、なかなかそういうわけにもいかないと思います。今後、用地も含めて、三善・八多喜とか進めていかれる中では、利便性とか利用者の声とかを聞いていただいて、より良い認定こども園を作っていただきたいと思います。来年度から、大洲の認定こども園は移動されるということで、利用者にとっては利用しやすいかと思っています。
二宮市長	東大洲認定こども園は、横断歩道のところをもう少し明るくすることでしょうか。
吉岡委員	横断歩道の所に街灯がないため、車から見にくいところがあるということ聞きます。特に今の時期だとは思いますが。 これから用地取得を進めていく施設については、そのようなことも考えていただきたいと思います。
二宮市長	近年整備したところは、少しでも送迎用の駐車場を確保しています。市民の方が子ども預けに来ていただいて、仕事に行き、仕事帰りに迎えに来て、家庭へ帰る。この導線を考えて、市民目線で考えていただいています。
仲岡課長	新しく整備する施設については、利便性を考慮した上で進めてまいります。
二宮市長	他にございませんか。ないようでしたら、私から1つお願いします。 新年度から、光ファイバ網を市内一円に広げるということで、大変周辺部の皆さんにはお待たせをしたのですが、令和3年度末を目途としてこぎつけたいと考えています。光ファイバ網を張り巡らせることは手法であって、そこで高速大容量の回線を使ってどのような生活をしていくのが本来の目的です。繋いで活用いただく、既存の整備されている市内中心部もそうですが、そうすることによって、テレワークであるとか、

	ワーケーション・サテライトオフィスの誘致に繋がると思っています。もちろん、市民生活がより便利にということは当然ですが、大きな予算をつぎ込むことにさせていただきました。課題は、I C Tに弱い、私から上の年代の方、高齢者の方がスマホやパソコンの機能がある程度活用できるようにしてあげる、例えば防災関係のアプリについても、リーフレット見せて「このとおりやってください。」と言って啓発しただけでは、大半の方は登録できずに終わってしまうと思います。 これはお願いですが、是非公民館活動の中で、時代のニーズにマッチした学級活動、学習活動について、講師を呼べば膨大な予算になるというだけでなく、どのようにすれば、安上がりになれるかを考えていただいて、実践をお願いしたいと思います。市長部局にも働きかけておりますので、有効な学級活動、学習活動に繋げていただきたいと思います。 教育長さん、教育部長さんにも、教育部局で号令をかけて、お願いしたいと思います。 新年度の課題は、デジタルトランスフォーメーションと持続可能な地域社会をどう作るか、S D G s の基本理念に則ったまちづくりをどのように進めるかだと考えております。一方的なお願いで申し訳ありませんが、善処いただきたいと思います。 他に何かご意見ございませんでしょうか。 ないようでしたら、次に進ませていただきます。
二宮市長 久保課長 二宮市長	(2) その他 議題の括弧2、その他なのですが、事務局から何か予定ございますか。 特にございません。 ないようでしたら、議事のほうは締めさせていただきます。 進行の方を事務局へお返しします。
	4 教育長あいさつ
	5 閉会